

一般質問 武藏重幸議員 2項目を問う



武藏重幸議員

問 入札の方法として一般競争入札も行うべき。

答 状況を見て一般競争入札導入も検討したい。

問 水芭蕉群生地の水質改善を行うべき。

答 管理は現状を維持しつつ、専門家の意見も伺っていく必要がある。

問 指名競争入札をやっている市町村はほとんどない。職員は大変かもしれないが、町の貴重な財産を使うのならばその努力は必要だと思いが町長の考えを伺う。

答 震災復興事業等が落ち着き請負の飽和状態が解消されれば、条件等を整理して一般競争入札の導入も進めていきたい。

問 町の工事発注は指名競争入札のみである。一般競争入札は行わないのか。

答 指名競争入札は通知から入札まで5日から10日程度となるが、一般競争入札は入札公告から契約の締結までに28日ほどかかる。工事の早期発注と事務の効率化を図り、確実な契約締結と工期内完成を目指すため、指名競争入札で工事を執行することはやむを得ないと考えている。

入札の方法

問 湯原地区には自然のままの水芭蕉も存在し、水が酸性ではないため花も大きく美しい。お金をかけるのであればやはり水質改善に回した方が良くはないか。

答 遊歩道から水芭蕉が見える環境を整備することで多くの観光客に見に来ていただいているということ

問 水芭蕉地帯はもともと酸性土壌の地帯ではなかったが、鉱山ができて酸性地帯になった経緯がある。毎年管理に20万円以上の金額を費やすのであればそれを土地や水質改良に使うべきではないか。

答 植物の生育環境を一度変化させると後戻りができないので、土壌や水質改良が適するかについては専門機関からの情報収集や他地域の実例などを参考にしていきたい。

水芭蕉の管理



▲水芭蕉群生地

問 どうやっていい水芭蕉をつくり上げるかが一番の問題だと思いが、もっと精査していただきたい。

答 現地に鉱毒があるのかという部分については専門家の意見を聞いて対応しなければならぬし、解毒作業も町がやるべきものなのか議論をする必要がある。

考えると、現在やっている作業がそれほど間違っているとは思えない。湯原地区の方々からもご協力を得ているため、管理方法については同意も得られているのではないかと考えている。

一般質問 吉田修議員 2項目を問う



吉田修議員

問 長雨による牧草の育成不良への支援は。

答 農作物全体の状況を見て検討したい。

問 国保財政の県単位化の現在の流れは。

答 11月末に仮算定。本計数の提示が12月末。標準保険料率決定が1月になる見込み。

問 長雨により2番草が最悪の状況で飼料として品質低下のため牛に与えられない。県の農業推進課、他の関係指導者も同じ答え。七ヶ宿の牧草地100ヘクタールとすると人件費を除いても990万円の損失とのこと。早急な調査が必要と思うが。

問 長雨による稲作、野菜作りが心配される。酪農家の牧草も生育不良でこのままでは不足分を買わなくてはならず、共済保険もないとのこと。町として何らかの救済支援についての見解は。

答 長雨の影響で品質低下が想定される。これからの天気次第で収量、品質に変化があるため、現時点での支援策の判断は難しい。牧草だけでなく農作物全体の状況を見て支援策を検討したい。

天候不順による牧草の育成不良

問 来年の4月から県の基準に移行することから、現在の流れについて伺う。

答 11月末まで平成30年度の仮算定を行う予定。制度移行に伴い保険料が増加する市町村に対し激変緩和処置を行う予定となっている。まだ検討中であり、本計数の提示が12月末、納付金、標準

国保財政の県単位化の進捗

問 産業振興として、基幹産業の酪農推進について考えは。

答 酪農家だけでなく農業についても基幹産業と考ええる。支援する、しないが全て大事ではない。今後将来的展望、経営の円滑化など総合的な指導、対応をしていきたい。

答 職員で聞き取りをしており、2番草の刈り取りが始まったと聞いている。今後の晴天に期待したい。

問 大事なことなのでどのように町民に知らせるのか。

答 少なくともまちだよりできちんとした情報提供、説明会も考えていきたい。

問 これ以上国保料が上げられたら定年金者は切り詰めた生活を余儀なくされる。マスコミでは全国の市町村の35%は国保料が上がるのではと言っている。当町の現状や要望など県との話し合いはされたのか。

答 年金者の県は後期高齢者と一般国保者と分けて考えなければならぬ。町と県で常に会議を開いている。国保会計に3000万円の積立金がある。将来にわたって運用も可能ではと考える。落ち着くまで支援を考えていきたい。

保険料率決定が1月になる見込み。条例改正や、住民への説明もあることから、早急な結論を示すよう要望したい。